



2020年8月31日

日本鉄道労働組合連合会

## J R グループ 労組連絡会 「第 28 回 総会」

# 加盟単組・労使が一丸となって難局を克服する

J R グループ 労組連絡会は 8 月 28 日、岡山市「ホテルグランヴィア岡山」で、会場の新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、出席者を来賓、総会委員、エリア連合担当、幹事会に限定し、「最大の経営危機を加盟単組・労使が一丸となって克服し、安全・安心で将来に希望が持てる J R グループを創造しよう！」をメインスローガンに、第 28 回総会を開催した。



冒頭、幹事会を代表して八木大星代表幹事（J R 西日本連合・NE S C O 労組執行委員長）が挨拶し、新型コロナウイルス感染症拡大に端を発したこの間の取り組みを振り返ったうえで、今後の社会変容を見据えた安全衛生活動の充実や働き方の検討、直近の課題である年末手当交渉や 2021 春季生活闘争に関して所信を述べた。そして、コロナ禍で労働組合の存在が再認識されたことを踏まえ、「J R 発足以来最大の経営危機に直面している今こそ、組織強化・拡大を図る絶好のチャンス」として、「コロナ禍を理由に組合活動を停滞させてはいけない。加盟全単組が『J R 連合ビジョン』を実践し、不安を抱える組合員に寄り添い、これまで築き上げてきた健全な労使関係を基礎に一丸となって、この難局を乗り越えよう」と訴えた。

来賓では、J R 連合から荻山市朗会長、尾形泰二郎事務局長、開催エリアの J R 西日本連合から上村良成議長（J R 連合副会長・J R 西労組中央執行委員長）、交運共済から松岡裕次理事長が出席し、連帯と激励の挨拶を受けた。

議事では、幹事会が 2019 年度活動報告と 2020 年度活動方針案を提案後、一旦休会して分科会別討議を実施。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う労使の取り組みや各単組の活動状況、現下の経営状況等を中心に闊達な意見交換が行われた。終了後に再開した議事では、各分科会の代表者から討議内容の報告を受け、全体で共有化を図った後、質疑・応答を経て、全議案が満場一致で採択された。幹事会については、森長健士幹事（J R 西日本連合・ホテルグランヴィア京都労組）が退任し、山内雄三氏（同）を選出。八木代表幹事をはじめ、他の幹事は全員再選した。

最後に、この難局を加盟 93 単組・3 万人の仲間が一丸となって克服していく決意を固め合うとともに、J R グループ 労組連絡会の特長である「横のつながり」の強化や「J R 連合ビジョン」の実践等を確認し、八木代表幹事の団結ガンバローで反転攻勢のスタートを切った。